福井県・若狭美浜

若狭美浜はあとふる体験
「強い心と生きぬく強さを」

福井県若狭美浜は、人口1万人、町の端から端までは車で約30～40分の距離の中に、日本海の中でも豊富な魚種が採れる「若狭湾の漁村」、ラムサール条約にも認定された「名勝三方五湖の湖村」、澄んだ空気と、山には木々が生い茂り、清らかな川が流れる豊かな自然の中で営む「若狭路の農村」、さらには、町の名の通り日本海に面した美しい浜が続きます。一つの町で漁村文化、湖の文化、農林業の文化を育んできました。

若狭美浜はあとふる体験では、この自然豊かな地域の資源を生かし、漁業体験、農林業体験、アウトドア体験、伝統味覚体験、工芸・歴史文化体験とバリエーションに富んだ体験プログラムを整えています。私たちは、地域のありのままのくらしの中で、体験者と地元住民との「ほんもの体験交流」を通じ、人と人とのふれあい、人と自然とのかかわり、生活文化の価値の大切さ、人の温かさを伝えたいと取り組んでいます。

また、京都の台所としての役割を担ってきたこの地域は京都から1時間半から2時間です。さらには北陸の古都金沢からも、約1時間半の距離となり、関西圏、北陸圏からも非常にアクセスの良い地域と言えます。

若狭美浜はあとふる体験は一つの町で取り組んでいます。一つの町で取り組む強みは、きめ細かな対応と地域のまとまりの良さと考えます。この強みを生かし町民全員で力を合わせ地域のため、日本の未来のために取り組んでいきます。

体験として農林業体験8プログラム、漁業体験11プログラム、アウトドア体験10プログラム、味覚工芸歴史文化体験16プログラムがあります。その中から、地域のインストラクターと共に汗を流し、本物のリアルな現場を体験することによって、生きる強さと自分の考え方を持ち行動できる人間へとつなげていける体験プログラムの一部をご紹介します。

生きる心を育む漁村民宿1日体験

チームワークを育むボート体験

漁村民宿1日体験

若狭美浜の漁村民宿に5人ずつ入り、1日目のお昼から翌日のお昼まで滞在し、小さなお宿の家族の一員として活動します。田舎の漁村文化や民宿を営む家族の絆、長年多くのお客さまを見てきた女将の生き方、新鮮な魚介類のおいしい食べ方、掃除の極意まで田舎で営む「日本のおもてなし」を1日の体験から学ぶことができます。さらに地域の方々との交流や働く姿から数多くのドラマを作っていきます。

ボート体験

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。漕ぎ手4人とコックス（舵とり）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。

「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。

民泊体験

「心の平和教育プログラム」として「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えています。子どもたちは、初めて出会う新たな家族と緊張の面持ちで対面します。けれど、一緒に食事の準備をし、みんなで食卓を囲んで団らんするうちに、互いに歩み寄ろうとすることから交流が生まれます。ここで、大人や異年齢の他人との交流の方法を学ぶのです。受け入れ家庭ではわが子のように接しています。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

相手の気持ちを考える民泊体験

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
コーディネーター　林正人（携帯電話090-8967-9471）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://heartful-mihama.wixsite.com/mihama
E-mail: tabikobo-hayashi@air.ocn.ne.jp

滋賀県・近江日野

農山村で課題解決型の修学旅行を
三方よし！近江日野田舎体験（さんぽう）

歴史文化学習と農泊を通じた交流の両立

私たちのまち、日野町は、〝売り手よし　買い手よし　世間よし〟の「三方よし」の精神で、常に社会貢献の心を忘れずに、商いに精進した近江日野商人発祥の地です。近江商人の三方よしの教えにならった生徒個々の生きる力を育む近江日野田舎体験と、滋賀県内で歴史文化学習、びわ湖での環境学習やスポーツ体験学習などの両立プランはいかがでしょうか。

近江日野の農村生活体験（農泊）は、先生方の本部宿から車でわずか15分圏内に150軒の受け入れ家庭を有し、収容人数は最大600人になります。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどをそれぞれの家庭で体験します。

日野町へはバスで京都や奈良、名古屋から約1時間半、名神高速、新名神高速主要インターからも約30分と、関西圏、中部圏との交通アクセスは大変良好です。

課題解決型の修学旅行ご提案～農村生活体験（農泊）と家業おまかせ

近江日野の農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしを体験し、その体験を通して心の交流が深まることにより、「コミュニケーション能力の向上」が期待できます。

各家庭ではさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、1軒ずつ内容もスケジュールも異なります。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食すことによる「農作業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業や共通体験を通して「達成感や豊かさ」をより深く体感いただくことができます。農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「リーダーシップの資質向上」「主体性、協調性」を養うプランは、数多くの学校の皆さまにご支持いただいています。

体験することが目的なのではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、近江日野田舎体験では考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「ひとりひとりが考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

三方よし！近江日野田舎体験は今年で、教育旅行の受け入れを始めて9年目となります。安全、安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しをお待ちしております。

畑作業で食生産の現場を知る

農泊受け入れ家庭と料理

イノシシと―。命をいただく教育

受け入れ家庭とのお別れでは涙も

一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
（日野町役場商工観光課内）
担当：中森雅之・西河佳子　　行政支援：福本修一・大岡正和
〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/

「主体的・対話的で深い学び」へ

京都府・山城地域

京都駅から1時間
宇治茶の郷で民泊・田舎体験

え？　京都で民泊？と思われるかもしれません。

京都府の南部、山城地域。自然豊かな宇治茶の産地で、山を覆うように美しい茶畑が広がります。茶畑や茶工場の間に民家が点在する独特の風景があり、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の舞台でもあります。

その山城地域で、宇治茶の約7割を生産するお茶の郷、和束（わづか）町と南山城村、そして歴史と観光資源に支えられた笠置（かさぎ）町の3町村を中心に民泊・田舎体験を展開しています。

京都・奈良に近い田舎

山城地域は、京都市内、大阪市内から車で1時間強、宇治市や奈良市から30～40分という立地にあります。都市圏に近いわりに、山間で鉄道の発達が遅れているため、京都にもこんな田舎が？と驚かれるくらい、豊かな自然と素朴な暮らしが残っています。京都や奈良での歴史学習と合わせて、田舎体験が可能です。

豊富な茶文化体験プログラム

「日常茶飯事」「無茶苦茶」など、日本語にはお茶にまつわる言葉がたくさんあります。お茶という存在が暮らしに欠かせないものであった証です。鎌倉時代に中国から伝えられたお茶を育て、日本人は独特の日本茶（抹茶、玉露、煎茶）と茶文化を発展させてきました。その礎を築き、けん引してきた京都・宇治茶の産地で、今それらに再び目を向け、親しんでほしいと思います。

茶農家の生業の結晶としての茶畑景観を巡りながら、お茶や茶づくりについて学ぶ茶畑散策をはじめ、お茶摘み体験、茶工場見学や煎茶のおいしい淹（い）れ方体験、室町時代から歴史がある茶香服（お茶の飲みあてゲーム）、茶道体験に抹茶アート、茶団子づくりなど、お茶に親しみ学ぶ、豊富な体験プログラムをご用意しています。

木津川を下るカヌー体験、農林業体験

お茶以外にも、田舎ならではの体験が可能です。木津川は、古くは平城京や大仏殿、平安京に木材を運び、また明治時代以降は神戸港まで輸出用のお茶を運ぶ、重要な水運でした。そんな歴史ある木津川を下るカヌー体験や、田舎ならではの農林業体験（野菜や米の収穫体験や農作業体験、木工体験や間伐体験、しめなわ作りなど）も体験できます。

300人まで受け入れが可能な民泊

そして何より、この山城地域に暮らす人々と触れ合う民泊体験。2014年度からインバウンドを中心に受け入れを始め、今年で4年目になります。受け入れ家庭は間もなく100軒に達し、18年度の秋には修学旅行生280人の受け入れが決定しています。

受け入れ家庭のある和束町、笠置町、南山城村の3町村はいずれも、人口減少と少子高齢化に悩む地域。子どもたちと触れ合い、交流を楽しみながら、そんな町に活気を取り戻すこと、歴史ある茶業や、茶が身近にある生活を守り伝えることを目的として事業を行っており、賛同した方々が受け入れ家庭になってくれています。

京都、奈良に近い宇治茶の郷での民泊と、お茶がこの地域に希望を与えてくれると信じて事業を進めています。まだ実績は少ないですが、その分、情熱を持ってお迎えします。

お茶摘みを体験し、茶や茶づくりを学ぶ

茶畑の散策

おいしいお茶の淹れ方

木津川のカヌー体験

京都山城体験交流ネットワーク
（一般財団法人 和束町活性化センター内）
担当　中西・下村
お問い合わせ　平日8：30～17：00
〒619-1222 京都府相楽郡和束町白栖大狭間35
TEL 0774-78-3396　FAX 0774-66-3496
E-mail:wazuka-t@chagenkyo.com

和歌山県・南紀州

ほんまもんの感動体験で心豊かに
海かがやき　山ひびく　清流の里　南紀州

紀伊半島の南部に位置する和歌山県南紀州エリアは、歴史ある温泉地と、農林漁業を生業とする地域です。「ほんまもん体験」は、1次産業が盛んな日置川地域を中心に各地で受け入れをしています。山、川、海と三拍子そろった自然の中で地域の多くの人たちと交流し、さまざまな体験を通して自主的・対話的で深い学びにしていただきたいと思っています。より効果的な活動となるよう、地域の魅力と課題について提案シートを作成していますので、テーマを探し事前学習をしていただきたいと思います。

農林漁家生活体験（民泊）

民泊協力家庭が130軒。1軒に4人として400人の受け入れが可能。民泊では半日、1日などの家業田舎体験、または選択式で「ほんまもん体験」を選べます。各民家では、お客さまではなく家族の一員としておもてなし、作業を手伝い、祖父母の世代と交流し、家庭の団らんを味わい「心豊かな田舎の暮らし」を体験します。食事はなるべく自家食材とし食材を採りに行くところから始め、新鮮な野菜や魚が「ほんものの味」を受け入れ実施のため、防災対策と衛生対策の指導責任者を置き、年度初めに保健所、消防署による講習会を開催し、安全管理、衛生管理を徹底。またインストラクターのクオリティアップ研修会、民泊研修会、地区懇談会を随時開催し会員の資質の向上を図っています。特に災害時の避難地図を作成し、緊急連絡体制を整え、安全対策には万全を期しています。

【お薦めの体験】

農林漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚体験などの和歌山らしいプログラムがそろいます。

一本釣り体験

漁船で大海原に出ての一本釣り体験。地元漁師の案内のもと、海を肌で感じ豊かな漁場である黒潮海流での漁を体験し、とれたての魚を食べる食育を通して漁食文化の理解を深化させます。

林業間伐体験

紀州木の国で山を守り育てる林業は環境学習であり、間伐体験はノコギリを使って木を倒し、危機管理も学習します。

リバーカヌー体験

県立自然公園、清流日置川をカヌーツーリング。木材を川流していた時代と同じルートを通り、川文化を学びながら川面に鮎の跳ねるのを間近に見る野趣あふれる感動体験です。

アクセス

近畿自動車道「紀勢道」が開通し、南紀白浜IC、日置川ICが完成。新大阪からバスで2時間30分。JR特急くろしおで新大阪から紀伊日置駅まで3時間弱（貸し切り臨時列車利用は紀伊日置駅発着可能）。

もう一度行きたくなる感動体験「南紀州ほんまもん体験」に地域一丸で取り組みます。お越しをお待ちしております。

民泊の受け入れ家庭で農作業を体験

リバーカヌー体験

森林での間伐体験

漁船での釣り体験

一般社団法人　南紀州交流公社
担当：佐本　真志
〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1
TEL 0739-53-0055　FAX 0739-34-5010
E-mail: minamikishu@samba.ocn.ne.jp
URL http://www.minamikishu.com